

# 日本消防



- CTIF女性消防隊員ワーキンググループ会議に参加して
- 消防団120年・自治体消防65周年記念オリジナルグッズ販売中



9  
2013

□ 絵 日本消防協会 前会長 高木繁光 様ご逝去  
第32回全国消防殉職者慰霊祭 H25.9.12 (木) 於 ニッショーホール

|                                                                              |    |
|------------------------------------------------------------------------------|----|
| 巻頭言「大規模災害と消防団」…… 公益財団法人 京都府消防協会 会長 京都府知事 山田 啓二 ……                            | 1  |
| 日消の動き「総合的な消防団員確保対策の展開」 …… (財)日本消防協会 会長 秋本 敏文 ……                              | 3  |
| 女性消防団員リーダー会議について …… (財)日本消防協会 ……                                             | 4  |
| 「消防団の店」現地ルポ 一長泉町消防団「消防団サポート事業」を訪ねてー<br>…………… (公財)東京防災救急協会 講習指導担当部長 谷口 由美子 …… | 6  |
| 特別表彰「まとい」を受章して 地域の安心・安全のために<br>…………… 山陽小野田市消防団 団長 磯村 軍治 ……                   | 10 |
| 東西南北 (島根)「やすらぎのまち安来」 …… 安来市消防団 団長 山本 純 ……                                    | 12 |
| 東西南北 (宮城)「自主・民主・協働の消防団をめざして」 …… 仙台市青葉消防団 団長 熊谷 繁勝 ……                         | 14 |
| 東西南北 (広島)「市民の生命・財産を護り、信頼される消防団」… 大竹市消防団 団長 中川 敏郎 ……                          | 16 |
| 東西南北 (宮崎)「地域に密着した消防団活動を目指して」 …… 串間市消防団 団長 武田 英樹 ……                           | 18 |
| シンフォニー (鹿児島県)「西之表市消防団女性分団が求められるもの」<br>…………… 西之表市消防団 女性分団 分団長 平川 久美子 ……       | 20 |
| シンフォニー (神奈川県)「いつやるの?? 今でしょう!!」<br>…………… 横浜市保土ヶ谷消防団 第4分団 2班 班長 松本 八千代 ……      | 22 |
| 事業所の消防団活動への理解・協力について …… 総務省 消防庁 防災課 ……                                       | 24 |
| 平成25年防災功労者 内閣総理大臣表彰 (消防関係) …… 総務省 消防庁 総務課 ……                                 | 25 |
| CTIF女性消防隊員ワーキンググループ会議に参加して<br>…………… (公財)東京防災救急協会 講習指導担当部長 谷口 由美子 ……          | 26 |
| 「全国消防殉職者遺族会理事会」を開催 …… 全国消防殉職者遺族会 ……                                          | 30 |
| 女性消防団員誕生 …… 埼玉県行田市消防団 ……                                                     | 31 |
| 「第42回全国消防救助技術大会」について …… 一般財団法人 全国消防協会 ……                                     | 32 |
| 消防団120年特別企画「大日本消防」表紙絵 …… (財)日本消防協会 ……                                        | 35 |
| 少年消防クラブ交流会の概要について …… (財)日本消防協会 ……                                            | 36 |
| 消防団120年・自治体消防65周年記念オリジナルグッズ ……                                               | 40 |
| 頑張れ!少年消防クラブ (栃木県)「減災」を学ぶ防災教育 …… 足利市立愛宕台中学校少年消防クラブ ……                         | 43 |
| うちの名物団員 ……                                                                   | 44 |
| 消防団の広場 (大分県)我が消防団の『4本目の矢』 …… 竹田市消防団 団長 都築 員守 ……                              | 46 |

編集後記

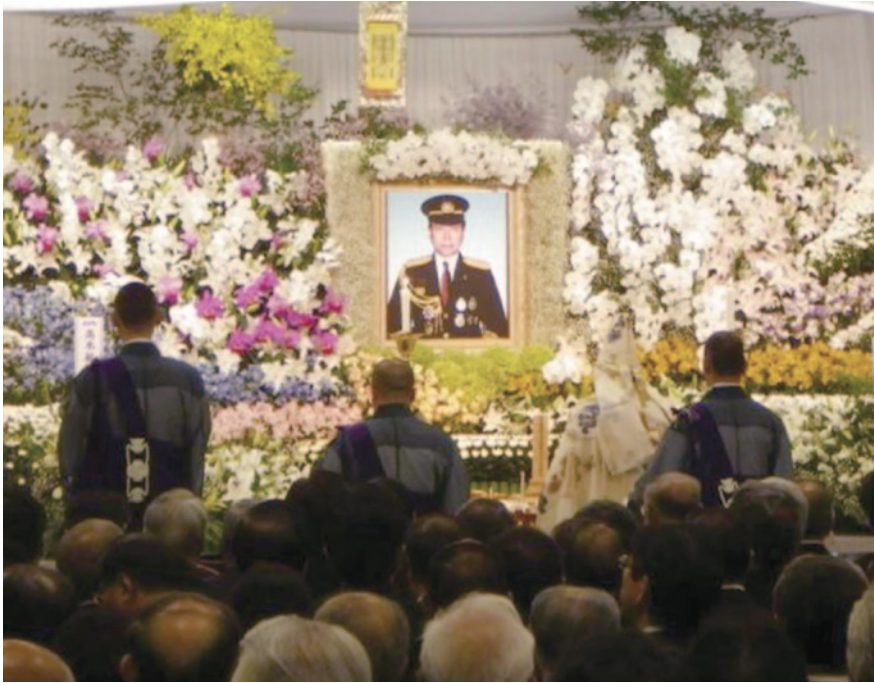
## 表紙写真説明

「出雲大社」

60年ぶりの大遷宮が行われ、奉祝行事が続く出雲大社。社殿が蘇ることで御神威も蘇るといわれます。旧暦の10月、出雲大社では全国の八百万の神々が集い、「縁結び」など諸事についての相談 (神議り (かむはかり)) が行われます。

(島根県出雲市大社町)

# 日本消防協会 前会長 高木繁光 様ご逝去



当協会前会長高木繁光様（享年85歳）におかれましては、平成25年9月10日（火）午前7時、ご逝去されました。

告別式は9月14日（土）札幌市において、国会議員、消防関係者など多数ご参列のもと厳粛かつ盛大に執りおこなわれました。

秋本会長は葬儀委員長として参列し、「高木繁光先生は、北海道議会議員として、8期32年の長きにわたり、札幌市、北海道のため大変幅広くご活動をされましたが、特に消防にはご尽力頂きました。地元の消防団員としておよそ60年、そのうち20年は消防団長として、数々の災害・事故に立ち向かってこられました。また、北海道消防協会会長としてご活躍頂き、さらに平成22年5月、全国の消防団長のご推挙により第10代の日本消防協会会長にご就任頂きました。ご在任中、東日本大震災の発生など困難な問題がありましたが、会長として消防の発展のためにご尽力頂き、その重責を果たして頂きました。高木繁光先生の安らかなご冥福をお祈りします。」とのごあいさつを申しあげました。

## 高木繁光様の主なご経歴

- |           |   |         |             |
|-----------|---|---------|-------------|
| ・昭和62年10月 | ～ | 平成18年9月 | 札幌市豊平消防団 団長 |
| ・平成10年4月  | ～ | 平成24年6月 | 北海道消防協会会長   |
| ・平成10年5月  | ～ | 平成22年5月 | 日本消防協会副会長   |
| ・平成22年5月  | ～ | 平成24年5月 | 日本消防協会会長    |

# 第32回全国消防殉職者慰霊祭

平成25年9月12日（木） 於 ニッショーホール



日本消防協会 秋本会長のあいさつ



安倍内閣総理大臣の追悼のことば

## 「大規模災害と消防団」

公益財団法人 京都府消防協会 会長 京都府知事 山田 啓二



幕末から明治維新という激動の時代を懸命に生きた人々を描くNHKの大河ドラマ「八重の桜」で舞台となっているのは、東北の「会津」と「京都」。今私が執務している場所こそ松平容保公が執務した京都守護職屋敷跡。八重の兄で京都府議会の初代議長にして二代目京都商工会議所会頭の山本覚馬など、両地の深い縁を感じていますが、登場人物の郷土を思うひたむきさは、まさに今なら消防団の心意気に相通じるとあらためて感じているところです。

東北に未曾有の被害をもたらした東日本大震災では、地元消防団員の方々によって懸命な防災活動が繰り上げられました。震災からはや2年数ヶ月が過ぎようとしていますが、あの巨大な地震に敢然として立ち向かい、多くの死傷者を出した消防団の皆様は後世まで語り継がれることと思います。自らの命をなげうって、水門閉鎖や避難誘導に当たった消防団の皆様さんや、寒風の中、あきらめず捜索や救出にあたった消防団員の方々の責務遂行に対する思いを振り返るとき、犠牲になられた全ての団員の御霊に対しまして、あらためて心からご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

今回の災害は、地域防災における消防団活動の重要性を改めて示したものであります。災害時には誰もが助け合い支え合わなければなりません、まさにその時自分

のことはさておき、地域の人々のためにリーダーとなって貢献する人々がいることが、どれだけ多くの人々を救ったことでしょうか。東北の被災地域に消防団員の方々がいなければ、あの災害時にそれぞれの地域はどうなっていたでしょうか。

今回の大震災を機に、今、消防団の存在と役割をもう一度再確認しその重要性を見直す機運が生まれています。昨今の豪雨災害や、いずれ起こる南海トラフの巨大地震を考えたとき、消防団の強化を真剣に考えなければならないことは明白であります。

大規模で広域な災害の場合、一時的に孤立する地域が発生しますが、それは、お年寄りや傷病者や子ども達といった普段から助けが必要な方々のフォロー以外に、新たに同時多発的に発生する救助や避難などに地域の人間が奔走しなければならないということです。広域災害の場合に、自衛隊・警察・消防といった公的部隊が投入されるまで数日間かかる地域が発生することは、東日本大震災をみれば明らかです。これらの公的な部隊投入については、より迅速な派遣へと順次改善がなされていくとしても、やはり災害発生時から数時間、あるいは数日は、地域内の誰かが救助・救出を試み、何らかの通信手段を駆使して外部と連絡を取らざるを得なくなります。孤立した中でも命を救える手立てや、外からの救出

が届くまで守り抜くものが地域に必要であります。

しかし、肝心の消防団の現状は大変厳しいものがあります。地域密着の防災人材とはいえ、夜間はともかく日中地元にいる団員は少なく、少子高齢化や過疎化、若者の都市部への流出など、消防団員のなり手そのものが先細りして地域防災力の低下を招いており、孤立危険のある中山間地ほど団員を必要としているにもかかわらず、今は危機的な状況といえます。

消防団の根本的な立て直しのためには、女性を幅広く登用する、若者の地域貢献意欲の醸成を図る、退団者の再入団を促す、などの団員確保とともに、大規模災害時も踏まえて救助資機材を備えた消防車を配備する、団員の通信体制を整備する、などソフト・ハード多方面からの対策と、なによりも府民運動的に理解を深めていくことが必要です。

こうした問題意識を背景として、京都府では昨年度から「ふるさとレスキュー」という取組みを開始しています。日常的に消防署所から遠い地域を中心に、消防団員と自治会等の地域人材による救助・救急のスクラムを組もうと呼びかけ、昨年度は5つの地域で立ち上がりました。いずれも普段、救急隊の到着に30分程度かかるため従来から危機意識が強く、地域ごとにオーダーメイドで仕組みづくりを進めています。

「ふるさとレスキュー」では、地域住民の求めに応じて駆けつけ、見守り、AEDなどを活用して初期の救護に当たるいわゆるファーストレスポnder的人材を消防団員中心に登録し、連絡網を作成し、AEDや担架などの救護資機材を備えて、赤十字や地元消防本部・府消防学校の協力で講習や訓練を実施しています。このような地道

な活動から災害活動の意識が醸成され、大規模災害時に万一孤立した場合でも適切な応急活動につながっていくのではないかと考えています。

京都府で最も北にあたる下宇川地域でふるさとレスキューが発足した際、私も現地に参りまして、集まられた消防団員はじめレスキューメンバーの皆様へ、大規模災害が起これば3日間耐えて下さい、それまでに必ず助けに来ます、と申し上げ、踏ん張っていただけるようお願いしたところです。

とはいえ、消防団員の皆様は、迅速で的確な活動を行うため、日々訓練や機械器具・水利等の点検をしていただいております、加えて救助や救急となればさらに負担感が増していくこととなります。しかしながら、今日的な団員減少傾向を改善するため、消防団の存在意義や役割に関して、これまで以上に住民の方々から理解と感謝の意を得ることが不可欠ですので、消防団員のウイングを広げるということも「ふるさとレスキュー」取組の狙いとしています。

また、京都府内は、都市部、中山間地、日本海沿岸部と、実に多様で幅広い地域性を持っております。府内各地の地域性を踏まえながら、これからも消防団員が各地で安定的かつ活発に活動していただけるよう、消防団員の方々にスポットを当てた「ふるさとレスキュー」のようなヒューマンインフラの構築や、消防団員による主体的な地域活動を応援する交付金（府制度）の活用などを通じ、多くの府民の方に消防団を理解していただき、加入していただけるよう努めるとともに、市町村と協力し、消防団中心とした大規模災害時に対応出来る強靱な地域づくりを実現していきたいと考えております。

# 「総合的な消防団員確保対策の展開」

（財）日本消防協会 会長 秋本 敏文

昨年9月以来、「消防団員確保のための総合的対策について」（内部検討用メモ）により、全国の消防団の皆さんと相談するようになってきました。そのことを昨年9月の「日本消防」に書きましたが、頂いたご意見や5月開催の消防団員確保対策についてのシンポジウムでのご意見などを取り入れながら、9月の理事会で「総合的な消防団員確保対策の展開」という日消の考え方を決定しました。

その詳細な内容は、これをご覧頂くほかありませんが、そのポイントを少し書きます。

まず、「総合的な対策」としていることです。我が国消防の最重要課題のひとつである消防団員の確保を本気で考えれば考える程、断片的なちょっとした対策ではなく、世の中全体や消防側などのいろいろな変化に即応しながら考えられる限りのあらゆる対策を実行しなければならないと思います。そのような考え方で、全体を大きく3つの項目に整理していますが、第1に消防団が大事だという認識をもっと徹底させるということを掲げ、そのための具体的な方策を書いています。

2番目に、消防団活動の充実を掲げ、3番目に消防団の活動環境の改善を書いています。団員確保対策の基本として考えなければならないのは、消防団活動をできる限り充実させ、その実態が国民の皆さんにキチンと示されて、国民の皆さんに正しく認識されるようにするという事ではないかと思われます。そのためにはいろいろなことが必要ですが、まず消防団の装備はもっともっと改善されなければなりませんし、これに見合う訓練もできるだけやらなければならないでしょう。

もうひとつ、この意見を、「対策の展開」としていることについて申し上げたいと思います。団員確保対策は、言葉だけで終わらせるのではなく、具体的な対策実行の「展開」が必要です。なかなか簡単なことではありませんが、消防団の装備については、国の基準の見直しの動きが見えそうですし、消防団を中心とする地域総合防災力の充実、これを実現するための新法の制定を提唱した当協会の意見を基礎とした新法制定の動きがマスコミ報道に出るようになりました。こうしたことひとつひとつを粘り強く進めなければならないと思います。

今回の日消意見では少年消防クラブの指導などで消防団がもっと地域の中に融け込むことなど消防団自身の取組みについてもいろいろ言っています。勿論それぞれの事情のなかで可能な範囲ということですが、国などに要請するだけでなく、消防団の努力も求められるでしょうし、これを応援することも必要でしょう。対策の実行も、団員増加の結果を出すことも簡単ではありませんが、諦めずにやりたいと思います。

# 女性消防団員リーダー会議について

(財)日本消防協会

平成25年7月26日（金）日本消防会館において、女性消防団員リーダー会議を開催いたしました。全国から16名の女性消防団員の方に出席して頂き、女性消防団員の活動内容、活動環境などの課題や問題点について、活発かつ有意義な意見交換が行われました。主な意見等は、次のとおりです。



なお、この会議には、消防庁防災課課長補佐 原尻氏、日本放送協会解説主幹 山崎氏及び米海軍日本管区司令部消防隊消防広報官 長谷川氏にも出席して頂き、会議中アドバイスを頂きました。

## 1 女性消防団員の活動内容について

- 昔と変わり男性団員はサラリーマンの団員が増え、女性消防団員も男性の団員と基本的には同じ活動をしている。そういった中で女性だけの活動ということであれば「応急救護」の普及に取り組んでいる。
- 家庭や仕事をもっている中、現場活動ではなく、救命講習や独居老人の防火訪問を行っている。
- 火災現場には出勤するが、消火活動ではなく被災をされた方の心のケアをしている。
- 防火、防災啓発活動における町内のパレードや男性団員と一緒に消防車による防火啓発の広報活動をしている。
- マラソン大会や花火大会において救護支援や炊き出しをしている。
- 年に1度、体験型の防災施設に行き、スキルアップを図っている。
- 近隣市町村の女性消防団員と年1回研修会を開催している。
- 部長、分団長会議に参加している。
- 月に1度、実践的な訓練を計画し、実施している。



- 住宅用火災警報器の普及啓発の寸劇や紙芝居を行い防火啓発に努めている。



## 2 女性消防団員の活動環境について

- 結婚、出産、育児、介護の中で、消防団活動とのバランスがとれず退団する人もあるため、家族の理解を得るような工夫が必要である。
- 女性消防団員としての要望が多くなり、役割が大きくなり、負担が増えることで退団者が増える一方で、入団者も減り、団員の確保が困難である。
- 団の方針として、火災現場には出動せずに、救命講習等のソフト面を行うような指針が既に示されている。
- 団員報酬について、消防団活動に積極的な人と消極的な人との間で不公平が生じている。

## 3 大規模災害時の対応について

- 災害発生直後から各地区、分団に被害状況を確認し、ライフラインが絶たれた方の避難誘導、支援物資の搬入、給水活動、避難所運営の補助を行った。
- 女性にしか話せない悩みを聞いて、物資の支援補助などの後方支援を行った。
- 災害対応のハンドブックを作成し、各家庭に配布した。
- 避難誘導に当たる際、安全確保や組織の連携の強化により努めることが課題である。
- 原子力災害においては、出産を控えた女性団員等を出動させることはできない。また、避難所においても先頭に立ち活動できるかが不安である。



「消防団の店」現地ルポ

# 一長泉町消防団 「消防団サポート事業」を訪ねて一

(公財)東京防災救急協会 講習指導担当部長 谷口 由美子



## 1 はじめに

富士山の世界遺産登録に沸く静岡県。その静岡県の東部、富士山の南東、伊豆半島の付け根の位置に今回訪問をした長泉町があります。

新幹線の三島駅まで車で10分程、三島市と沼津市の間に位置し、工場の多い工業の町です。近年急速に宅地化が進んでおり、町の施策として子供に対して

の医療費免除があり、若い人が他から来て居住し東京に通勤する人も増えています。年齢別の人口分布でも20-30代が多く、1970年から2010年までの40年間に人口は12,800人以上増加しています。

今回は同町で行われている消防団員優遇支援事業（以下「消防団サポート事業」という。）について取材にうかがいました。

## 2 事業設立のきっかけ

サポート事業は、2012年7月1日からスタートしており、1年が経過しました。

きっかけは、商工会の工業部長でもあつ



ながいずみマップの看板（JR土狩駅）

た一人の分団長が、南アルプス市の商工会が消防団員確保対策の一環として、消防団サポート事業を行っていることをインターネットで知ったことが始まりでした。（南アルプス市へは昨年消防団サポート事業の取材で私も伺っています。）一年間ほどこの分団長は自分の中で案を温めていましたが、ある時の役員会に思い切って消防団サポート事業を商工会が中心となってやっ

てはどうかという提案をしました。しかし、一般の人にとってみれば、消防団は数あるボランティア団体の一つであり「なぜ商工会が消防団だけを支援しなければいけない



建築関係（株岩崎ホームサービス）  
消防団サポート事業を提案した岩崎分団長

のか？」という意見が出されました。また、消防団に対し良いイメージを持っていない人もいました。一つの事業を立ち上げるためには役員全体の同意を得ることが不可欠でしたから、そこへ持っていくためには大変な苦勞がありました。

ここで力になり大きなけん引力となってくれたのが、分団長と同じ年代の子供を持ち、その子供たちが現在または過去に消防団員だったという父親たちの世代が役員の中にいたことでした。親の世代の人たちの大きなエネルギーの応援を受け、気が付くと分団長の提案は前に進み始めました。

### 3 制度の内容

消防団サポート事業の登録店舗において消防団員が団員証を示すことにより、様々なサービスを受けることができます。飲食店ならば料金の割引の他ドリンクや料理のサービス、自動車関係ならば車検や整備工賃の割引、小売店では割引サービスや粗品プレゼント等があり、その他にもレジャー

施設、リフォーム・建築関係、サービス関係など52の事業所が現在登録されています。しかし、はじめに協力事業所を公募した時には10社あるかないかの状況でした。これでは制度を作っても動きません。ここで幸運だったことは、商工会で会員のところを回る仕事をしている職員が消防団員だったことです。ご自分の仕事で回る会員の店舗等にこの制度を説明して協力を

求めた結果、現在の事業所数になりました。

ここでもネックになったことは、事業所の人たちが消防団に関する知識を持っていないということでした。自分たちで作っている消防団像はあっても、どのような組織で、どのような規模があり、どのような活動をしているかを理解してもらえていなかったそうです。そこで、消防団の役割や活動、日ごろの訓練の様子、災害への対応を説明して理解を得たうえで協力してもらうところまでこぎ着けました。

消防団サポート事業については、商工会は登録店の募集について協力はしていますが、のぼり旗、卓上のぼり、ステッカーなどの作成費用は、消防本部で予算化しています。

団員の反応は、基本的には皆ボランティアという意識なので、見返りのようなものを求めておらず、こういう制度ができて嬉しいという気持ちと感謝の気持ちはある反面、周囲に遠慮をして使える店でも団員証を示さないという人もいます。

#### 4 登録店舗では

積極的に消防団サポート事業に協力してくれている4つの事業所を訪問しました。

自動車関係の事業所では、団員とその家族には工賃が割引されます。その他内容に応じてサービスがあるようです。ここの代表者はこの制度の立ち上げに牽引者の役割をしてくれました。この制度を継続させるポイントを伺うと、「団員の人たちの本音は、割引とかサービスというものではなく『ご苦労さん』と言ってもらいたいのだと思う。商工会員620社が消防団を応援するという気持ちで『団員ありがとう』というのぼり旗を立てたら『消防団はすごいな、これだけ応援者がいるんだ。じゃあ団員になってみようか。』という気持ちになる。地元のにぼり旗がたくさん上がることが必要です。そのためには消防団の真の姿を見せ、知名度をあげていくことです。それが団員の確保にも、この事業の継続にもつながると思います。」

団員が良く利用をしているという飲食店では、10%割引や料理のサービスをしてくれます。かなり活用をしてもらっているとのこと、オーナーが居住している隣接する市にはこのような制度がないので、良い

制度だとのコメントをいただきました。

三か所目はリフォームや建築関係の事業所です。割引サービスの他にケースに応じてのサービスがあります。利用した団員は1年で2-3人ということでしたが、建築関係ということを考えれば少なくはないと思います。ここは、サポート事業の口火を切った分団長のいる事業所でもあります。事業は動き出したが沈殿しないように、消防団にも商工会にも通じる後輩を育てることが使命と感じていると、継承の重要性について語ってくれました。

最後に伺ったのは、長泉町で古くからある寿司屋さんでした。サポート事業に協力しようと思ったきっかけは、先代から「消防団の人にはご苦労様という気持ちを忘れるな。」と言われていたそうで、町内の消防団員が減少していることを商工会で聞き、「大変だな」という気持ちから賛同したとのことでした。宴会での飲み物サービスを一般の方より優遇しているとのことでした。

制度が発展していくにはどうすれば良いかをうかがったところ、「消防団ご苦労様」という思いが伝われば消防団の人がお店に来てくれて商売にもなる。この事業は、県内で第1号だと聞いています。近隣や他県



中華料理店（まんがん）



寿司店（喜作寿司）

から質問や視察が来ているということは、やって誇れる事業だということ。加盟店を増やして浸透させていくことが課題ですとの答をいただきました。また、昔より消防団に対する有難みが薄れてきています。世の中から感謝の気持ちが無くなっているときだからこそ、消防団が一生懸命訓練をしているときに消防団への感謝の声掛けが消防団の糧なのだと話してくださいました。正に最初に伺った自動車関係の事業所の代表者と同じ答えが返ってきました。

## 5 今後について

冒頭で書いたように、長泉町は人口が増え若い人の居住率も高い地域です。過疎化や高齢化が叫ばれている地域がある時代に、町は非常に発展を続けています。消防団員の平均年齢は33.8歳、団長の年齢も51歳と全国平均から見ても若い団員が多いことがわかります。

しかし、この町の消防団の悩みは知名度が低いということです。少しでも消防団のことを住民に正しく理解してもらうために、様々な試行錯誤が行われています。先般行われた駿東支部の操法大会では、近隣の商工会に頼んでご当地グルメフェアを同時開催しました。そういう所に集まってきた人が一所懸命に訓練をしている消防団の姿を見て、消防団のことを知り、「真面目にやっているよね。」とイメージをアップさせてくれることが大事だと考えたからです。これからも消防団を正しく認識しても

平成25年度 駿東支部 消防操法大会

消防操法競技 ポンプ車操法の部・小型ポンプ操法の部・訓練礼式の部

2013 6/23 SUN AM 9:00 PM 1:30

場所 / 愛鷹広域公園 多目的広場 雨天の場合は延期

同時開催 ご当地グルメフェア

小山町 瀬尾町 長泉町 清水町 沼津市 長岡町

静岡県消防協会駿東支部

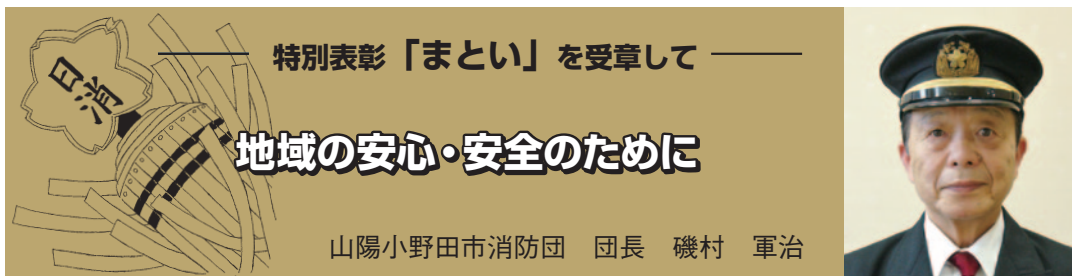
お問い合わせ先 長泉町商工会 TEL.055-986-0685 FAX.055-986-3092

駿東支部操法大会ポスター

らうためのイメージアップ作戦は続きます。

## 6 取材をして

新しく長泉町民になった若い人たちが消防団に目を向け、自分たちの町の安全安心と真に向き合った時、この町のたくさんの人たちが消防団応援団になるはず。その日のために、現団員と商工会の努力は続きます。消防団サポート事業の旗がいたるところではためき、「消防団お疲れ様」の声が様々な場所で聞こえて来たとき、このサポート事業が真に成功したときと言えるでしょう。



## はじめに

平成25年2月26日に日本消防会館（ニッショーホール）で開催されました第65回日本消防協会定例表彰式において消防団表彰（団体）の最高榮譽である特別表彰「まとい」を受章致しました。この受章に伴い、平成25年6月16日に「まとい」受章披露式を開催しました。その際には、山陽小野田市長をはじめ山口県消防協会会長など多くの方の御臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

全国で2200以上ある消防団の中から当消防団が受章できました事は、我々消防団はもとより消防関係者の方々、さらに山陽小野田市民にとりましてもこの上ない榮譽であり喜びであります。

これもひとえに、山陽小野田市民の皆様の消防団に対するご理解とご協力であると深く感謝いたしますとともに、郷土愛護の消防団精神を育ててきた先人達の努力と市民の安心安全を守るため、昼夜を問わず活動している消防団員と、その活動を陰で支えられている



まとい市長報告

ご家族の皆様に対しまして、心からお礼申し上げます。

## 山陽小野田市の紹介

山陽小野田市は、平成17年3月22日に旧小野田市と旧山陽町の1市1町が合併し、誕生しました。

山口県の南西部に位置し、中国山系の屋根が東西に走って市境を形成しており、中央部から南部にかけ丘陵性の台地から平地で、海岸線一帯は、ほとんど干拓地で市内中央部に厚狭川、有帆川が流れ瀬戸内海へ注いでいます。市街地を囲むように森や湖、海など豊かな自然に恵まれ、公園やレクリエーション施設があり、優れた自然環境に包まれています。

## 山陽小野田市消防団の紹介

平成17年3月22日合併に伴い、消防団22ヶ分団、条例定数503名で山陽小野田市消防団が発足しましたが、地域に密着した消防団活動を展開できるよう、さらに消防団車両及び施設の整備を図るため、小学校区を基本として消防団の再編成をおこない、平成19年4月に消防団13ヶ分団、条例定数485名に再編し、現在に至っています。主な装備として消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプを各分団に配備しています。

## 消防団の活動

消防団の主な活動は、1月に消防出初式、2月に方面隊中継送水訓練、5月に新入団員



操法大会

研修・幹部団員研修、水防工法訓練、8月に消防操法大会、11月には秋の火災予防運動に伴い70歳以上の一人暮らし世帯を対象とした住宅防火診断、12月に年末特別警戒、女性消防団員については普通救命講習の指導、各種行事のサポートを行っています。

当市は平成22年7月15日に集中豪雨により市内河川が氾濫し、これにより住家の浸水、土砂災害や道路の冠水等の被害が相次いだ。住家の半壊が8件、床上浸水441件、床下浸水355件という甚大な被害が出たものの人的被害は無かった。この時、各分団は管轄地域を巡回し、避難場所への誘導や広報、被災調査等を実施した。毎年5月には、梅雨時期を迎えるにあたり、当時の状況を思い出しながら、被害を最小限に食い止めるよう全分団が参加し、水防工法訓練を実施しています。

また各分団では、管轄区域の巡回、消防水



水防訓練



女性団員

利及び消防機械器具の点検の実施、さらに、平成23年3月の東日本大震災以降、各地域において市民の防災意識を高めようとして行われる自主防災組織による防災訓練にも積極的に参加して地域に根ざした活動を行っています。

### 終わりに

この受章を機に、これまで以上に団員一同が一致団結して市民の安心安全なまちづくりのために、更なる努力精進をしていく所存です。

終わりに、この荣誉ある特別表彰「まとい」の受章にあたり、格段のご配慮とご尽力を賜りました日本消防協会をはじめ、山口県消防協会並びに消防防災関係各位の皆様にご心よりお礼申し上げますとともに、今後、益々のご発展とご健勝を祈念して受章の挨拶とさせていただきます。



出初式腕用ポンプ



## 「やすらぎのまち安来」



安来市消防団 団長 山本 純

### 1 安来市の紹介

安来市は鳥根県の東部、鳥取県との県境に位置し、市域は東西およそ22km、南北およそ28kmで、面積は420.97km<sup>2</sup>です。南部は中国山地に連なる豊かな緑に覆われ、そこを源流として中海に注ぐ飯梨川・伯太川全流域が市域に含まれます。下流域に形成された三角州平野には広大な耕地が広がり、上流域には豊かな森林と県東部の水瓶としての機能も果たす布部ダム・山佐ダムがあります。

平成16年の市町村合併により、戦国時代に名をはせ、山陰の文化・経済の中心として栄えた尼子氏が居城をかまえていた広瀬町、チューリップの球根、番茶の生産地として有名な伯太町の1市2町により安来市は誕生しました。

安来市は民謡安来節の発祥の地であり、ユーモラスな踊りどじょうすくいでも全国でも名を知られています。

また、平成22年にはNHKの連続テレビ小説『ゲゲゲの女房』で主人公のふるさと安来市大塚町が紹介されるなど全国的にも注目をあびました。

### 2 消防団の概要

安来市消防団は平成16年の市町村合併で

平成24年  
安来市消防出初式

開催 1月8日

式典  
開始 午前10時~  
場所 安来市民会館大ホール

通常点検・機械器具点検・一斉放水  
開始 午前11時15分頃  
場所 安来港水頭

安来市消防団 男性団員 女性団員募集中 安来市消防本部消防総務課 TEL 22-0119

出初式ポスター

1市2町により平成16年10月1日誕生しました。

3方面隊19分団で構成され、定員823名に対し実員744名、うち女性団員19名で構成されています。合併時から年々減り続けてきた団員数もこの近年横ばいとなり、合併10年を目標に消防団の組織改革、団員の処遇改善など、消防団の活性化に向けた取り組みを行っています。



### 3 消防団の活動

安来市消防団の活動としては、4月の初任者訓練、県大会の出場権をかけた安来市消防操法大会の開催、秋には各分団で行われる実戦訓練の実施、また隔年で全団員対象に行われる普通救命講習など、年間を通じ団員の知識、技術のレベルアップに取り組んでいます。

本年2月には、公益財団法人 島根県消防協会指導のもと災害図上訓練（DIG）を実施しました。この訓練は、災害想定を安来市消防団の実態に合わせ、大雨被害が各地区で発生したとの想定で、分団長以上の幹部28名で実施しました。訓練は、地元団員ならではの地域情報も盛り込み、本番さながらの訓練となり、訓練に参加した団員からは、今後もこのような訓練を定期的に行ってほしいなど、前向きな発言がありました。

また安来市消防団独自の取り組みとして安来市内のケーブルテレビ「どじょっこテレビ」による消防団コーナーがあります。この番組は毎月1回放送があり、女性消防団員がキャスターとなり消防団の紹介や火災予防についての放送を行っています。



どじょっこテレビ

### 4 おわりに

近年当市においても、今までの経験を超える集中豪雨や大雪などの自然災害が発生しています。今年の7月、島根県において甚大な被害をもたらした豪雨災害では、当市においても時間雨量100ミリを超える雨量を観測しましたが、人命にかかわる災害が発生しなかったことに安堵したところです。

安来の地名の由来は スサノオノミコトがこの地を訪れ「吾が御心は安平（やす）けくなりぬ」と申されたことに由来すると出雲國風土記に記されています。

今後も訓練を通じ団員のスキルアップを図るとともに、団員の結束を深め安来の地名の由来であります「安らげるまち」「安心安全なまち安来」の実現に向け、消防団活動にまい進してまいりたいと思います。



DIG訓練



水防訓練



## 「自主・民主・協働の 消防団をめざして」



仙台市青葉消防団 団長 熊谷 繁勝

### 1 仙台市青葉区を紹介

仙台市は、宮城県のほぼ中央に位置しており、西は山形県、東は太平洋に面し、面積は、788.09km<sup>2</sup>と宮城県の約10.7%を占めています。山形県境の奥羽山脈には蔵王国定公園や船形連峰など千m級の山並みが連なり、その東側には広い丘陵地が続き、広瀬川、名取川、七北田川が太平洋に注いでいます。

この中で、青葉消防団が管轄する青葉区は、東北一の歓楽街として知られる国分町をはじめ、仙台の中心市街地の多くを包含し、青葉城跡や神社仏閣などの史跡を有するとともに、中心部を広瀬川が流れる自然豊かなところでもあります。



仙台七夕特別警戒

人口は、288,000人と仙台市全体1,065,000人の約28%を占めています。

平成23年の東日本大震災では、津波による直接的な被害は受けなかったものの住宅の倒壊や宅地の崩落など、広域にわたり多くの被害が発生しました。

### 2 青葉消防団の概要

現在の仙台市は、昭和62年に宮城町と、昭和63年に泉市、秋保町との合併を経て、平成元年に政令指定都市に移行し、5区制（青葉区・宮城野区・若林区・太白区・泉区）となりました。こうした経過を踏まえ、仙台市の消防団は、現在、7消防団（青葉消防団、宮城野消防団、若林消防団、太白消防団、秋保消防団、泉消防団、宮城消防団）の体制となっております。私たちの青葉消防団は、団本部及び10分団で編成されており、各分団25名の定員で本部団員も含め計260名の規模となっておりますが、近年団員の確保に苦慮しており、消防団協力事業所表示制度の活用や商店街、町内会等の協力をいただきながら団員確保に努めています。（現員210内、女性団員25名）消防団の施設設備としては、各分団に簡易救助資器材付可搬ポンプ積載車が配備され、機械器具置場及び消防団員詰所が設置されております。また、市内の7消防団には、町火消しの伝統を継承する「階子乗り隊」が組織されており、仙台青葉まつりや消防出初式、区民まつりなどで演技を披露し、広く市民に

親しまれています。

### 3 消防団の活動

青葉消防団の年間を通しての主な活動をご紹介します。消防団員自らが事業を企画し自主的に活動し、また、団員の意見を事業に反映させ民主的な組織運営を図ることを目的に、毎月本部会議及び分団長以上会議を消防職員参加のもとで実施しています。この他にも、庶務部長会議を年2回程度行い、庶務会計及び行事計画等の連絡調整を図り、共通認識のもと事業を推進しております。主な活動としては、春・秋の火災予防活動にともなう広報活動や演習訓練、水防訓練、林野火災防御訓練、仙台市総合防災訓練、消防団特別点検、文化財防火デー訓練、仙台七夕まつりやどんと祭等の特別警戒を行っているほか、年間をとおして消防職員隊との連携を確認する訓練を実施しています。また、各分団が所属する町内会や商店街が行う防火・防災訓練等には企画の段階から参画するとともに、地域の行事に積極的にかかわり協働するなど、地域活動との連携協力体制づくりに取り組んでいます。その他、団員の交流を促進し、円滑な消防団活動を確保するためにボーリング大会なども実施しています。

### 4 終わりに

青葉消防団は、地域の様々な団体の活動と連携し、一体となって地域の安全に取り組むことを目標に、日々努力しておりますが、そのためには消防団の活動を地域の方々に広く理解して頂き、多くの方々の協力を得ていくことがなによりも大切であると考えております。私たち一人ひとりがその役割と責任を認識し、常



階子乗り隊

に自主的活動・民主的な組織運営・地域との協働の精神を持ち、ひたむきに消防団活動を続けることが、地域から信頼され、そして期待される消防団につながっていくものと信じています。

「自らの地域は、自らで守る」という信念のもとで



消防出初式



# 「市民の生命・財産を護り、 信頼される消防団」



大竹市消防団 団長 中川 敏郎

## 1 大竹市の紹介

大竹市は広島県の西の玄関口で、山口県との県境に位置し、両県の交流において重要な位置を占めており、昭和29年大竹町、小方町、玖波町、栗谷町が合併して誕生しました。

本市は人口が約28,000人、面積が78.57km<sup>2</sup>で、古来より豊かな清水と水源を利用した和紙生産が盛んな土地でした。

第二次世界大戦中は、旧海軍の海兵団や潜水学校が置かれ、重要な軍事基地としての役割を果たしていました。

終戦後は、それら旧海軍施設跡地に企業を誘致し、化学、繊維、製紙工場が建設され日本で最初の石油コンビナートを形成し、工業都市として発展して現在に至って

います。

## 2 大竹市消防団の紹介

大竹市消防団は、大正14年に旧大竹町、油見村が一丸となり組員765名で消防組を設立したことを祖とし、昭和29年に大竹市の市制誕生とともに発足しました。

その後、幾度かの機構改革を行い、平成25年4月現在、1本部、12分団、実員308名で編成されており、その内女性消防団員は、本部に11名、山間部と離島に15名が在籍しています。なお、本部団員は有事の際は後方支援に当たり、平時は防火指導に活躍し、分団所属団員は、有事に備え男性団員と共に訓練に励んでいます。

車両は、団本部指令車1台、広報車1台、積載車24台、小型動力ポンプ29台を配備しています。

## 3 消防団の活動

新春の出初式に始まり、毎月各分団による機械器具点検・放水訓練、団計画に基づく訓練礼式、火災予防週間中には全団による総合訓練や消防署及び自主防災組織との合同訓練、年末には特別警戒を実施しています。



ポンプ操法大会

また、消防団活性化委員会を立上げ、企業を訪問し消防団協力事業所表示を依頼すると共に消防団への協力、団員確保にも取り組んでいます。

女性団員は、火災予防週間中には予防広報、一人暮らしの老人宅訪問や保育所で紙芝居を使った防火指導も行い、火災予防の推進を図っています。

毎年11月には、消防本部と合同で消防フェアを開催し、市民に防火意識の高揚と普及を図っています。



女性団員広報活動

#### 4 おわりに

大竹市においては近年大きな災害は発生していませんが、東日本大震災の発生や、南海トラフ地震の発生のおそれなど、市民の不安が増す中、日常訓練に加え地域との防災訓練を充実させ「自分の命は自分で護る」を念頭に、信頼される消防団として、企業及び行政と協力しながら安全・安心な街づくりのための活動を充実させたいと思います。



消防出初式（団員整列）



消防出初式（大竹火消太鼓）



## 「地域に密着した 消防団活動を目指して」



串間市消防団 団長 武田 英樹

### 1 串間市の紹介【個 性的で自然が豊かで とても住みやすい町】

本市は、九州の南東端、宮崎県の最南部で県都宮崎市  
の南南西約70kmの場所に  
位置し、東は日向灘、南は  
志布志湾に臨み、北西は都  
城市・日南市及び鹿児島県  
志布志市に接しています。

市の中北西部のほとんど  
は豊かな丘陵地帯となっ  
ており、東部から南部に続く延長77kmの海岸  
線は、日南海岸国定公園に指定されており  
南国らしい風景が訪れた人々を魅了しま  
す。

また、市内には二つの山脈が走り、瀧口  
山、笠祇山等を主峰とするその北部一帯は  
うっそうとした山林に包まれ、森林資源の  
宝庫となっており更には黒潮の影響により  
年平均気温は17.9度と県内観測地点で二番  
目に高く年間を通じて温暖で、海岸部には  
無霜地帯もあり亜熱帯植物が自生しており  
ます。

次に観光名所については、無数に存在し  
た軍馬養成のための牧場の名残で野生馬の  
いる都井岬、海水で芋を洗って食べるこ  
とで有名な文化猿の幸島やサーフィンスポッ



観光名所（都井岬野生馬）

トでも有名な恋ヶ浦などがあり市内全域が  
自然の美しさそのままの景観豊かな自然環  
境都市です。

### 2 串間市消防団の概要

消防団組織については、団長以下、5分  
団42部で構成され総員686名（平成25年4  
月1日）となっております。また、全国的  
にも団員の確保が非常に困難となっ  
てきているが、本市も例外でなく少子高齢化や社  
会環境の変化に伴う消防団適正年齢層の減  
少や就業構造の変化による消防団のサラ  
リーマン化等、昨今の消防団員を取り巻く  
諸問題により活動可能な団員を確保するこ  
とが困難になってきているのが現状となっ  
ております。



消火栓取扱い訓練風景

また、女性消防団については、沿岸地域を管轄する金谷地区及び立宇津地区にそれぞれ所属され消防活動に取り組んでおりますが、団員の高齢化などにより現在のところは、金谷地区（5名）のみとなっております。今後も将来的に女性消防団員が担う活動が期待されていることから事あるごとに女性団員の確保を積極的に取り組んでいきたいと思っております。

### 3 串間市消防団の活動

消防団の主な活動といたしましては、火災、風水害等の災害活動のほか、平常時の活動として各種訓練（中継訓練・水防訓練）機械器具点検、消防式典、操法大会への参加など幅広く取り組んでおります。

特に全国的にも東日本大震災を契機に防災に関するニーズが高まるなか最初に取り組んだのが専門講師による津波に関する知識の習得や地域の被害予想などについて団員のスキルアップを図り沿岸地域にて開催される総合防災訓練等に積極的に参加し地域防災力の向上を図っております。また、串間市三大祭り等（福島新港花火大会・都

井岬火祭り・市民秋祭り）の警備活動をとおして、古くから各地域と密接な関係を構築し、防災のみならず防犯の面でも重要な役割を果たしております。

### 4 終わりに

消防団員の活動環境については全国同様に被雇用者が大部分を占めております。そこで、団員が、より一層活動しやすくする環境を作る為に今年度より「串間市消防

団協力事業所表示制度実施要綱」を施行し既に3社の事業所を認定しております。今後も事業者の方々に対し消防団活動への一層の理解と協力を呼び掛けてまいります。

次に内閣府によりますと南海トラフにおいてマグニチュード9クラスの巨大地震が発生した場合には宮崎県の死者は最大で4万2千人、避難者は35万人となり更には、当市においても県内最大津波高の17メートルの津波襲来が予想されております。このような未曾有の災害から市民の安全・安心を守るためにも地域に密着した消防団活動や沿岸部を中心とした津波訓練等に積極的に取り組み地域住民の負託に答えていきたいと考えております。



消防出初式



## シンフォニー（鹿児島県）

# 「西之表市消防団 女性分団が求められるもの」

西之表市消防団 女性分団 分団長  
平川 久美子

ここ西之表市は鹿児島県の離島の一つ、歴史的にも有名な鉄砲伝来の地、また近年ではロケット基地として世界的にも有名な種子島の北部に位置します。種子島は縦長で平面的な地形であり、北から西之表市、中種子町、南種子町の1市2町からなる人口約3万人の島で、青い海はもちろん、波を求めて日本中からサーファーが集まるサーフィンの島としても有名です。西之表市は約1万7千人、フェリーや高速船の発着所や飛行場にも比較的近い立地にあり、種子島の活気ある玄関口となっています。ブランドとして定着した安納いもも、ここ西之表市安納地区から広まりました。

私たち団員10名（30代～60代）の西之表市女性分団は、平成24年4月に、本部付から新たに西之表市13番目の分団として発足しました。異例のことながら団員歴7年目の私は2階級飛び越しての分団長抜擢です。まだ、消

防団員としての経験も知識も浅く、ましてや指揮命令等のノウハウなどの習得もほとんどできていない状態からのスタートでした。いろんなご指摘やご指導、ご協力を頂きながら、私たち女性分団は発足2年目に入り、以前よりスムーズな活動に加え、消防団の一員としてのより一層の責任と自覚をもって日々の活動に取り組んでいます。

私たちの活動内容ですが、他の市町村の女性消防団員と同じように主に広報活動を中心に行っています。消防団員の特徴はいろいろな職種の集まりであるということです。一人ひとりの個性や職種を生かし、子育て中の母親には自宅のできる内職のような作業を、比較的時間の融通のきく職場や団員には外回りを多くするなど、毎月第二水曜日の定例会を軸に年間を通して様々な活動をしています。島独特の火災としては、はかま焼きによる火災があります。はかま焼きとは、島の特産で



消防出初式：市中行進



寿大学：高齢者講習



あるサトウキビの収穫時にサトウキビの頂頭部や枯葉を畑で各農家が火入れすることであり、その際判断を誤ると、周辺の雑木に延焼し火災が発生することがあります。時期的には12月から3月にかけて、冬場の風の強い時です。一昨年、死傷事故が続けて発生したこともあり、消防署等の関係機関の取り組みに加え私たちがパトロールの強化を図り、はかま焼き火災は減少傾向にあります。具体的には該当月に2回～4回、市内一帯のサトウキビ畑に広報車（といってもまだ女性分団の広報車は配備されてなく、他の分団の消防車を借りながらですが）で、チラシ配りを行い農家とコミュニケーションをとりながら、元バスガイドの分団員の生の美声を活かしてパトロールに励んでいます。

また、月2回、各関係者と連携を取りながら火災報知機の設置の有無や取り付けを含め、高齢者宅訪問を行っています。地道な活動ではありますが、一軒一軒市内全域の訪問を目指し頑張っています。時には話し相手になったり、用務のついでに立ち寄りたりして高齢者の見守りも行っています。合わせて、市主催の高齢者を対象にした寿大学や各地域で行われる高齢者学級にも参加し、火災予防や防災に関する話をさせてもらっています。

その他、定例化している活動として、GW中、毎年市内の子供たちが集まる子供祭りでは、1ブースを借りて消火器の使い方や防災クイズなど、毎年工夫を凝らしながら子供たち向けの防災教室を行います。その他にも、7月に全国から選手が集まる車いすマラソンのボランティア、8月には市内最大の祭りである鉄砲祭りでの給水サービス、10月は市内体育祭での広報活動、幼稚園児たちへの防災教室などいろいろなイ

ベントに出向き、女性消防団として活躍できる場を自分たちで探し、試行錯誤しながら広報活動、防災活動を行っています。

消防団内の活動では、操法大会等で各役員を担当し、出初式では行進・式典参加に加え、炊き出し訓練の一環として200人分のぜんざいの配給、また、救急医療等の研修会への参加、定期的な規律訓練など消防団員としての知識を深める時間も設け日々精進しているところです。火災現場においても後方支援として可能な限り出動します。

まだまだ、他の分団と足並みそろえるには程遠いですが、一人ひとりが消防団員としての自覚と誇りをもって活動できるように、今後も研修を重ねながら、市民の皆様が少しでも自己防災の意識を高めていけるよう広報活動を続けていきたいと思っています。



子供祭り：消火器体験



結団式：幼年消防クラブと記念撮影



## シンフォニー（神奈川県）

# 「いつやるの?? 今でしょう!!」

横浜市保土ヶ谷消防団 第4分団 2班 班長  
松本 八千代

横浜市の女性消防団は、「阪神・淡路大震災」を教訓に、地域社会における女性力を消防団組織の中で生かし、消防団の活性化と消防力の強化を図るために平成9年10月に誕生しました。

私たちの住む保土ヶ谷区は横浜市のちょうど真ん中に位置し、古くは東海道五十三次の保土ヶ谷宿、そしてお正月恒例の箱根駅伝「花の2区」で最初の急勾配として知られる権太坂などがあります。保土ヶ谷消防団は4分団からなり、団員数350名のうち45名の女性団員が活動しています。

主な活動としては、大規模災害対応訓練・地域防災拠点訓練への参加・出初式での広報活動・女性団員研修会・毎月の防火パトロールなどがありますが、特に力を入れているのが「救命講習」の開催です。

救急救命士の資格を持つ女性班長を中心に、各分団から2名の応急手当指導員をリーダーとする「救命講習検討委員会」を作り指導員のスキルアップをはかります。以前は団全体で救命講習を行っていましたが、応急手

当指導員の資格を持つ団員が43名に増えたこともあり、現在では分団単位で団員に対する上級救命講習や一般市民を対象とした普通救命講習や救命指導を行っています。

そこで分団ごとにレベルの違いが出てしまうことを防ぐため、指導員に対する研修会も行っています。

内容としては検討委員会がいくつかのシナリオを作ります。

- 例1) 駅で人だかりがあり、近づくると人が倒れています。駅の改札にはAEDがあります。
- 例2) 少年野球の大会でデッドボールで塁に走り出した子供が倒れこみました。大会本部にはAEDがありません。
- 例3) 夜の駅のホームで前を歩いていた60代の男性が倒れこみました。まわりには誰もいません。改札にはAEDがありません。
- 例4) 区役所で孫の様子が変わると騒いでいるおじいさんを見つけました。抱っこされた赤ちゃんの顔を見るとぐったりとしています。

このようなシナリオに沿って指導員をグループ分けし、役割を決めて応急手当をどの様に行っていたらよいか発表してもらいます。これは手技の見直しを目的とするもので、検討委員が効果測定確認表を基準にして評価をします。

胸骨圧迫のテンポや位置が正確に行われているか？ AEDの操作が正確に行われているか？ など、これは新しいガイドラインで変



大規模災害対応訓練

わったことや、いろいろな場面でCPR（心肺蘇生法）が必要となった場合に効果的です。

救命講習の依頼は地域住民の方や公共施設などさまざまですが、実施するうえで難しいのは受講者に合った教え方を必要とすることです。

毎年夏休みに行われる地域の中学生を対象とした普通救命講習は、空調のない蒸し風呂のような体育館で1グループ約10名の生徒を指導します。1人の生徒がCPRをしているときに、残りの生徒をいかにして飽きさせないようにするかが指導員の腕の見せどころです。

「胸骨圧迫のテンポは1分間に100回以上ね！」と言っても「???’の顔。

そんな時は「ドラえもん之歌知ってるよね！それに合わせて押してみて！」と言った感じ。これが中高年の方が対象の時は「サタデーナイトフィーバーのテンポでお願いします！」という具合になります。反応の確認も「アイドルの名前で呼んでもOKよ！」と言うと中学生のやる気が全開となり、グループ丸となり楽しそうにやってくれます。CPRを必要とした場面に生徒たちが出くわしたとき「助けたい！」という気持ちを持ってくれることが大事なのです。

助けを必要とする人がいる時「CPRいつやるの？今でしょう！」このフレーズは今年使ってみようと思います。

それから休憩の時、レサシを調整するために顔の皮をペロッととはがします。

たいていの女子は「キャー！」と驚きますが、すぐに興味津々で集まってきます。そしてレサシの「アンちゃん」の名前の由来、これはかなりの確率でウケます。

地域にとって中学生は災害時にとっても頼りになる存在です。そんな生徒たちの「記憶に残る講習」を心がけることで私たち指導員もスキルアップすることができます。

また東日本大震災以降、大規模災害対応訓練として実際のガレキの中にケガの状態の札を付けた傷病者を置き、救助と同時に応急手当をする訓練も行っています。これは思った以上に大変で、まず重症度を確認し、トリアー



中学生に対する普通救命講習



AEDを使用した救命講習

ジを行い応急手当をしますが、上級救命講習で習うすべてのことの応用であり、生体を使って講習以上のことを要求されるので、より慎重に行う必要があります。

訓練でもこれだけ右往左往するのでですから実際の災害の時には、どれだけのことができるのだろうと考えさせられました。でも私たちには「応急手当指導員」というスキルがあるので、いざという時のためにも練習を重ねていくことが重要だと思います。

私は「助けられる人」ではなく、「助ける人」になりたくて消防団員になりました。

# 事業所の消防団活動への理解・協力について

総務省 消防庁 防災課

## ○消防団について

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、平素は様々な職業に従事している地域住民が、災害発生時には非常勤の地方公務員として災害に対応する組織であり、地域コミュニティの維持及び振興にも大きな役割を果たしております。

また、消防団員は地域で発生した火災に対応するだけでなく、東日本大震災をはじめ、昨年の九州北部豪雨などでも、住民の避難誘導や救助活動などに献身的に従事し、その活動は高く評価され、地域の不可欠な存在となっております。

しかしながら、過疎化、少子高齢化の進行、産業・就業構造の変化等に伴い、消防団員数は年々減少し、平成24年4月1日現在で、約87万4千人となっており、10年前の平成14年4月1日の約93万7千人に比べ、約6万人減少し、地域における防災力の低下が懸念されています。

## ○消防団活動には事業所の協力が重要

消防団に占める被雇用者団員の割合は、平成24年4月1日現在で、10年前の平成14年4月1日現在の69.0%に比べ2.6ポイント増加し、71.6%となっており、団員の被雇用者の割合が高い水準で推移しています。このため、消防団活動を維持していくためには、事業所の消防団への理解や協力が非常に重要となっております。

## ○消防庁の取組

消防庁では、

- ・従業員の入団を積極的に推進するなど、消防団活動に特に深い理解があり、協力度の高い事業所に対する表彰
- ・消防団と事業所の連携・協力の優良事例の紹介、意見交換を行う場の開催
- ・経済団体等への働きかけ（従業員の入団促進や、勤務時間中の消防団活動への便宜・配慮などについて依頼）
- ・事業所に向けた消防団参加促進パンフレットの作成・配布

などを実施し、事業所の消防団活動に対する理解・協力を求めています。

## ○消防団協力事業所制度について

消防庁では、平成18年度から消防団活動に協力している事業所を顕彰する「消防団協力事業所表示制度」を設け、市町村等における導入の促進を図っています。特別の休暇制度を設けて勤務時間中の消防団活動に便宜を図ったり、従業員の入団を積極的に推進する等の協力は、地域の防災体制の充実に資すると同時に、事業所が地域社会の構成員として防災に貢献する取組であり、当該事業所の信頼の向上につながります。

平成24年4月1日現在、47都道府県の926市町村で本制度を導入済みであり、消防団協力事業所数は8,603事業所となっております。

## ○地域で消防団を応援する事例

全国では、地域で消防団を応援する取組が行われているところがあります。

松山市では、地域のために活動する消防団員を社会全体で応援しようということで、IC機能付きの消防団員証を市内の応援事業所で掲示すると、割引等の優遇措置を受けることができるシステムを導入しました。また、消防団員はもとより、日頃から消防団活動に対して理解いただいているご家族などの同伴者についても割引を受けられます。現在の応援事業所数は、飲食店を中心に70店舗と増加しています。団員からは、士気が高まった、との声が聴かれるとのことでした。

今後も、消防団活動について一層の御理解・御協力をお願いいたします。

消防庁が交付する表示証  
(ゴールドマーク)



市町村等が交付する表示証  
(シルバーマーク)



問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課消防団係 山下  
TEL：03-5253-7525

# 平成25年防災功労者 内閣総理大臣表彰（消防関係）

総務省 消防庁 総務課

平成25年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者（消防関係）は、次のとおりです。

## 防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者 30団体

防災功労者内閣総理大臣表彰は、毎年9月1日を「防災の日」とし、「政府、地方公共団体等関係諸機関を始め、広く国民が、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資する」という趣旨に基づき、内閣総理大臣が表彰を行うものです。

### ○ 表彰式日程

- 1 日 時 平成25年9月2日（月）11時15分～11時25分
- 2 場 所 総理大臣官邸大ホール

| 平成25年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿<br>(消防関係)     |        |         |
|---------------------------------------|--------|---------|
| ○ 団 体                                 |        |         |
| 【災害現場での顕著な防災活動】                       |        |         |
| （平成22年7月集中豪雨における消防団の災害出動）             |        |         |
| 可児市消防団                                | (岐阜県)  |         |
| 八百津町消防団                               | (岐阜県)  |         |
| （平成22年10月集中豪雨における消防団の災害出動）            |        |         |
| 奄美市消防団                                | (鹿児島県) |         |
| （平成22年12月31日からの大雪における消防団の災害出動）        |        |         |
| 松江市消防団                                | (島根県)  |         |
| （平成23年7月新潟・福島豪雨における消防団等の災害出動等）        |        |         |
| 南魚沼市消防団                               | (新潟県)  |         |
| （平成23年8月林野火災における消防団の災害出動）             |        |         |
| 玉野市消防団                                | (岡山県)  |         |
| （平成23年台風第12号における消防団の災害出動）             |        |         |
| 御浜町消防団                                | (三重県)  |         |
| 紀宝町消防団                                | (三重県)  |         |
| 田辺市消防団                                | (和歌山県) |         |
| 新宮市消防団                                | (和歌山県) |         |
| 日高川町消防団                               | (和歌山県) |         |
| 古座川町消防団                               | (和歌山県) |         |
| 那智勝浦町消防団                              | (和歌山県) |         |
| （平成23年台風第15号における消防団の災害出動）             |        |         |
| 葛巻町消防団                                | (岩手県)  |         |
| 多治見市消防団                               | (岐阜県)  |         |
| 白川町消防団                                | (岐阜県)  |         |
| （平成23年台風第15号、平成24年4月林野火災における消防団の災害出動） |        |         |
| 二戸市消防団                                | (岩手県)  |         |
| （平成24年7月九州北部豪雨等における消防団の災害出動）          |        |         |
| 八女市消防団                                | (福岡県)  |         |
| 八女市立花消防団                              | (福岡県)  |         |
| みやま市消防団                               | (福岡県)  |         |
| 高森町消防団                                | (熊本県)  |         |
| 南阿蘇村消防団                               | (熊本県)  |         |
| （平成24年8月大津市南部豪雨災害における消防団の災害出動）        |        |         |
| 大津市消防団                                | (滋賀県)  |         |
| （平成24年11月林野火災における消防団の災害出動）            |        |         |
| 三宅村消防団                                | (東京都)  |         |
| 【防災体制の整備】                             |        |         |
| 岩手県立宮古工業高等学校機械科課題研究津波模型班              | (岩手県)  |         |
| 南三陸町立歌津中学校                            | (宮城県)  |         |
| 子育て応援!O. 1. 2. 3サークル                  | (三重県)  |         |
| 日野ボランティア・ネットワーク                       | (鳥取県)  |         |
| 西尾久四丁目町会区民レスキュー隊                      | (東京都)  |         |
| 岩清区自主防災会                              | (愛知県)  |         |
|                                       |        | 以上 30団体 |

# CTIF女性消防隊員ワーキンググループ会議に参加して

(公財)東京防災救急協会 講習指導担当部長 谷口 由美子



## 1 はじめに

CTIF女性消防隊員WG会議の開催国であるセルビアのベオグラード空港に到着したのは、日本を出発してから約16時間後の現地時間午後9時過ぎでした。会議が開催されるホテルでは、セルビア消防協会の副会長（女性）が出迎えてくれ、他の国の代表たちが懇親会を開いている会場へと案内されました。国際会議へ参加するという緊張感と実感が一気に襲ってきました。

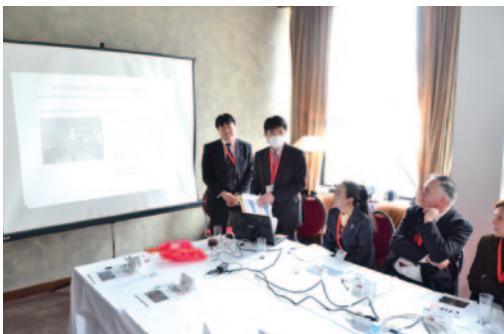
今回の会議では「女性消防隊員（女性消防官と女性消防団員）について」というテーマで意見発表があり、東京消防庁の女性消防官であったことや、日本消防協会の講師をしていて、女性消防団員のことも理解していること

から、代表として参加させていただきました。

## 2 CTIF女性消防隊員WG会議

CTIFは、1900年に設立され、ヨーロッパを中心とする約40か国の消防協会等が参加する消防・救助に関する国際的なネットワーク組織で、現在の事務局はベルリンに設置されています。

日本消防協会は、平成24年度CTIFに加盟。平成24年9月にスロバキアで開かれたCTIF総会と女性消防隊員WG会議に参加し、総会時に日本消防協会の加盟が承認されました。女性消防隊員WG会議への参加は、今回で2回目になります。



CTIF女性消防WG会議

## (1) 会議の概要

4月4日午前10時から会議が開催されました。日本のほか、ロシア（座長）、フランス、セルビア、スウェーデン、オーストリア、フィンランド、スロベニアが参加し、各国の女性消防隊員の活動や課題について情報交換が行われました。

日本からは青山国際部長（当時）が「日本の女性消防隊員について」と題し、消防体制、女性消防職員・団員数の推移、女性消防隊員の活動、日本消防協会の取り組みについて報告をし、続いて谷口から「Firewomen of Tokyo, Japan」と題して、東京消防庁の女性消防官の歴史、業務内容、自分の略歴や体験した災害、東日本大震災と震災対策での女性の活動、今後の女性消防官の業務の方向性や国際交流について報告をしました。

他の参加国からは、次のような報告がありました。  
セルビア

以前は女性消防隊員に対する差別がありましたが（具体的な内容は不明）、現在は女性が危機管理訓練センター長を務めるなど問題はなくなりました。危機管理訓練センターでは消防士の教育をしており、3,000人の消防士がいて、女性は311名が活躍しています。男女の区別はなく、子供のいる女性にも訓練を受けやすい環境に配慮をしているとのことでしたが、具体的な内容を聞くことはできませんでした。

ニシ（地名）にある安全保障大学（Faculty of Occupational）では、修士課程、博士課程を設け研究者を育てています。1998年から消防防災を取り入れ防火、危機管理、環境などのコースで多くの女性たちが学んでいるとのことでした。

スウェーデン

1997年から消防への女性参加が認められ、1998年に8名の女性が訓練を受けました。常備消防では、5,200人中140人（2.7%）が女性です。

2006年、労働組合にHKBMという常備の

女性消防隊員に関するワーキンググループを設置しました。HKBMは男女平等を推進しており、国会に意見を出すこともできます。2010年にNetwork Women In Rescueが結成され、2011年にはストックホルムで会議が開かれています。ネットワークを作り、女性消防隊員に関する様々な問題を指導するべく内外で活動をしています。

課題としては、女性に対する偏見や消防活動に要求される体力、活動服の検討等があります。特に印象的だったのは冬の水中での女性消防隊員の救助活動訓練の様子が映像で紹介されましたが、過酷なものでした。

パートタイム消防隊員については、入隊1～2年後に消防学校で9週間の教育訓練を受けるほか、月に1回消防署で教育訓練を受けています。活動、教育訓練ともに男女の区別はなく、妊娠中の女性に限り母体保護の観点から活動の制限があります。出勤したり教育訓練を受けた場合には、市町村が雇用主に対して補償をします。

フランス

女性消防隊員の割合は増えてきており14%で、男性と同様の訓練を受けています。

メディカルサービスに占める女性消防隊員の割合は42%です。

スロベニア

17の消防区に約13万人の消防隊員がおり、女性消防隊員はそのうちの14%で現場にも出動しますが、ロジスティックスを担当している者が多いとのことでした。年齢は18歳から55歳までで、1,348署ある消防署の55署の消防署長が女性です。

学校や幼稚園と協力して青少年教育に力を入れており、青少年オリンピックでは良い成績を収めました。しかし、政府機関に女性の消防関係職員が少なく女性の教育が不十分等の課題があります。

ロシア

「各時代におけるロシアの女性消防隊員について」と題して発表が行われました。

ロシア帝国時代には義勇消防に女性が参加していました。ソヴィエト連邦時代には

女性が消防活動に参加しており、コンサートやパフォーマンスで士気高揚を図りました。ロシア連邦になって女性の消防幹部も出現し、高度の知識を持つ女医もいます。火災の技術研究で賞をとったり、講義をしている者もいます。19世紀以降常備消防、義勇消防ともに女性消防隊員が増えています。

## (2) 女性消防隊員WGの今後の活動について

女性消防隊員WGの今後の活動として参加国が情報を持ち寄り、女性消防隊員に関する統計資料、秀でた女性消防隊員の活動を紹介する資料等を作成することとし、次の会議はフランスで開催されることが決まっています。

## 2 セルビア消防視察

4月5日WG会議解散後、内務省とベオグラード消防局を訪れました。

セルビアでは、消防法及び緊急事態法で消防について規定され、常備消防隊員は3,082人、義勇消防隊員は22,280人います。

内務省では副大臣と職員が対応してくれました。2010年に緊急事態法が成立し、緊急事態の対処は総理大臣をトップとし、内務省に緊急事態部門（Sector for Emergency Management）を設置しました。2011年には政府が緊急事態に対する戦略を決定し、国に緊急事態対応の指揮者を4,000人置き、そのうち3,000人が消防です。

緊急事態への対応責任は市長にあり、災害発生時にはまず市・区の消防が出動し、大規模な災害になると国の消防が出動し指揮をとります。

人口2,000人以上の市・区では消防隊を置かなければならず、人口2,000人未満の市・区ではボランティアや周辺の市・区の消防が対応します。

緊急事態部門には、予防部、消防部、危険管理部、市民防衛部、訓練センターが設置され各部に専門家がいます。訓練センターは国の職員の教育訓練のほか、市・区の職員の教育も行う最も重要なセクションです。消防は大水、火事、土砂災害、地震、化学事故等に対応します。Map of Riskの作成は、北部はド



セルビア内務省記念写真



ベオグラード消防局視察

ナウ川、サバ川、キサ川があり、南部は小さい川がたくさんあって人口の3分の2が大水の危険にさらされているからです。中央と南部は地震も多く、地震のチームが5つあります。

山火事の対応にヘリコプターを有し、周辺六か国と支援に関する協定を締結しています。大型機を使用しての消火等ロシアとも交流があります。周辺国の緊急事態にも国際援助を行っています。

ベオグラード消防局には15の消防署と水上消防署が設置されており、職員数は705人、消防車両は150台、年間出動件数は7,500件です。

救急は市が行い警察を通じて通報され、消防は警察や救急（市）と連携して活動を行っていて日本のシステムとは違います。また、消防は消火、予防、救助のほか、子どもの防災教育や国際交流も担当しています。

義勇消防については、国の北部は義勇消防隊員が多かった旧オーストリア・ハンガリー地域なのでうまくいっていますが、国の中央部や南部は旧トルコ地域で、義勇消防隊員が現在でも少ないそうです。義勇消防隊員には元



警察官が多いのも特徴です。

ベオグラードでは、義勇消防の活動は予防が中心で、山火事で常備消防の活動を手伝いますが混成にはしていません。小さな町では混成にしているようですが、後でセルビア消防協会から聞いた話では、3年後に、義勇消防と常備消防が同様の活動を行うようになる予定だそうです。また、ベオグラードの義勇消防は中央部にはなく端にある小さな区に置かれています。

### 3 ミュンヘン青少年消防隊訪問

帰国途上、ミュンヘン青少年消防隊を視察する機会を作っていただきました。

雪がちらつく寒い日曜日でしたが、ミュンヘンの青少年消防隊が活動をしている消防団の建物では、隊長のタニヤをはじめ制服を着用した年長の団員たちが迎えてくれました。

青少年消防隊には10歳から18歳までの隊員が145名いて、消防団（団員数857名）の指導の下毎週1回の活動をしています。

隊員の公募は1年に数回あり、条件は健康であることだけです。応募してきた子どもには2-3回一緒に活動してもらい適性を見るところでした。

活動の映像に水中での訓練など危険を伴うものがあったので、安全管理について確認したところ、消防団員が指導者としてつき、常に監視をしていることと、隊員の年齢や経験年数を厳しく規制しているところでした。

16歳からは現場活動訓練も行います。実際に消防自動車を使って青少年消防隊の防火衣を着用し、出場から放水、応急救護の訓練を見せてくれました。大人顔負けの動きにただ感心するばかりで、楽しそうに活動している姿が印象的でした。

入隊の動機を聞いたところ、親や兄弟が消防団や青少年消防隊に入っている、将来消防隊員になりたい、仲間を作り一緒に活動したいなどの答えが返ってきました。また、青少年消防隊を卒業すると、98%の隊員が消防団員になることは驚きでした。ミュンヘンでは女性が消防団員になれるようになったの

は、1993年からです。

日本の消防少年団員も彼らに負けないように育てなければと思いつつミュンヘン青少年消防隊に別れを告げました。



ミュンヘン青少年消防隊視察

### 4 おわりに

多くの貴重な体験をさせていただいたWG会議への参加でした。

駐在している日本の商社の方は、ベオグラードに来て以来自分の周囲でサイレンの音も鳴らず、交通事故にも遭遇したことがないと話していました。ベオグラードの日常は災害が少ないのでしょうか。しかし、内務省で聞いたように地方では大きな山火事、水災、地震との戦いがあります。国が異なれば、自然や社会情勢も異なりますから、災害への対処の仕方、組織体制なども変わります。しかし、今回感じたことは、たとえ環境や災害状況が異なっても、消防に携わる者の心はひとつ。消防精神は一緒なのだということを強く感じた次第です。

そしてもう一つ。女性の消防活動について、国は異なっても共通の課題があることがわかりました。女性消防の歴史の長さが、課題への取り組み方の違いにあらわれており、日本は課題への取り組み方が一歩長じているように思います。日本の女性消防団員、女性消防職員の活動内容、業務を取り巻く環境、社会からの期待度などはヨーロッパの上をいくものだと思信しました。

これからの国際交流のヒントとして、日本における女性消防隊員の取り組みを積極的に世界へアピールすることだと考えます。

# 「全国消防殉職者遺族会理事会」を開催

全国消防殉職者遺族会

平成25年9月11日、午前11時から、日本消防会館5階第2会議室で「全国消防殉職者遺族会理事会」が開催されました。

## ◇平成25年度第1回理事会

### 議 事

- (1) 平成24年度事業報告及び収支決算・監査報告

### その他

- (1) 第32回全国消防殉職者慰霊祭について
- (2) 消防育英会の状況について

議事については、異議なく承認されました。

理事会閉会后、屋上の全国消防殉職者慰霊碑を参拝しました。



# 女性消防団員誕生

埼玉県行田市消防団

行田市消防団では、条例定数を増やし、平成25年4月1日から10人の女性消防団員を新たに任用しました。

当団の女性消防団員は、ひとり暮らし高齢者の見守り活動と共に防火訪問などの火災予防広報活動や、地域住民への防火・防災指導、応急手当の普及指導等を主に行うこととしています。そのため、今年度は研修訓練期間と定め、各種教養研修や応急手当普及員講習など、様々な教育研修に取り組んでいるところです。

研修期間終了後は、これまで男性団員だけでは難しかった活動を補い、女性ならではの視点を取り入れた、更にきめ細やかな活動を行いたいと思います。



行田市女性消防団員



行田市長との懇談会



応急手当普及員講習

# 「第42回全国消防救助技術大会」について

一般財団法人 全国消防協会

## 1 はじめに

一般財団法人全国消防協会では、去る8月22日に広島市の旧広島市民球場跡地及び広島市総合屋内プールにおいて、「世界恒久平和」を願う広島の思いと、全国の消防職員が集い、力を集結して人命救助に立ち向かう思いを発信するため、「和」をスローガンとして、第42回全国消防救助技術大会を、多くの来賓と市民をお迎えし盛大に挙行了しました。

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、全国市民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しているものです。さらに、第35回大会からは市民が参加できるイベントを開催するなど、変革を遂げながら、今大会で42回の開催を数えるに至りました。



シンボル



大江会長

## 2 今大会を振り返って

平成2年の第19回大会が開催されて以来、23年ぶり3回目の大会開催となる広島市は、緑あふれる山々や市街地を流れる六つの川、穏やかな瀬戸内海など自然環境に恵まれた美しい都市であると同時に、市内中心部にある広島平和記念資料館には年間120万人以上の人が訪れ、世界中に平和の尊さを訴える国際平和都市であり、広島市消防局では市民の安全を守り安心を支えるため、全職員が一丸となって消防行政を強力に推進しています。

今大会は広島市消防局主管のもと、市街地の中心という交通アクセスのよいなかで、周辺地域や施設と連携して賑わいを創出することを基本理念に開催されました。公共機関の協力による事前広報やイベントの開催、シャトルバスの運行、運営要員を約600名動員し、万全の態勢を整えました。

さて、大会当日は、今年の猛暑を象徴する炎天下の中、一般の方や消防関係者など約21,500名で埋め尽くされた会場内は、開会式を目前に熱気と興奮に包まれました。

午前8時55分、広島市消防音楽隊の軽快な演奏に合わせ、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国9地区支部から選抜された971名の精鋭たちが堂々と入場し、開催地地区支部長である滝澤広島市消防局長、水上の部にあつては野田名古屋消防長の開会宣言で大会の幕は開きました。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げました。続いて国旗・大会旗掲揚の後は、大会会長である大江全国消防協会会長のあいさつ、開催地である松井広島市長のあいさつ、大石消防庁長官、秋本日本消防協会会長、湯崎広島県知事、碓井広島市議会議長の祝辞と続き、大会審判長の石松北九州市消防局長による審判長指示がなされました。その後、出場隊員を代表して広島市消防局の村上隊員、



オープニングセレモニー（陸上）



オープニングセレモニー（水上）



陸上の部（引揚救助）



水上の部（水中検索救助）

水上の部にあつては竹松隊員が力強く隊員宣誓を行いました。

開会式終了後のオープニングセレモニーでは、広島県立五日市高等学校書道部の皆さんによる、消防救助への思いを込めた素晴らしい書道パフォーマンスが披露されました。

いよいよ訓練の幕開けです。全国から選りすぐられた精鋭たちの眼差しは一段と鋭くなり、訓練に臨みます。救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、磨き抜かれた技を次々と披露する隊員の姿に、観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止みませんでした。

また、水上会場のオープニングセレモニーでは、広島文教女子大学付属高等学校和太鼓部「文教太鼓 葵」の皆さんにより力強い演技が披露されました。

訓練の締めくくりは、技術訓練。陸上の部では広島市消防局、福山地区消防組合消防局、

新潟市消防局の三隊が同時進行で「震災に伴う低所救助」をテーマに、水上の部では神戸市消防局と札幌市消防局の二隊が「切迫した環境下での救助活動」をテーマに、創意工夫を凝らした救助技術を披露しました。会場で技術訓練を見守る隊員の眼差しも、細部にわたるまで吸収しようとする姿が感じられました。

閉会式が始まるまでの間は、広島市消防音楽隊とカラーガード隊による華やかな演奏と特別演技が披露されました。



技術訓練（陸上）



技術訓練（水上）



市民参加イベント（キッズレスキュー）

閉会式では、各種目の入賞者を大会会長である大江全国消防協会会長が表彰し、「十分な安全管理のもと、参加隊員も怪我をすることなく無事大会を終了することができた。改めて大会関係者の皆様に対してお礼を申し上げたい。陸上の部、水上の部でそれぞれの隊員の皆さんが、日頃から鍛え抜かれた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮し、素晴らしい成果をおさめられたことは、わが国の消防救助技術が将来にわたり、受け継がれていくものと確信している。消防救助技術の更なる向上に日々努められるとともに、本日の訓練成果を実災害でも十分に発揮し、地域住民の負託に応えられることを切に希望する。」との講評がありました。国旗降納に続いて、大会旗が滝澤広島市消防局長から次期開催地の石井千葉市消防局長に引き継がれ、石井局長から次期開催地としてあいさつがありました。最後に、滝澤広島市消防局長が閉会を宣言し、第42回全国消防救助技術大会は幕を下ろしました。

### 3 終わりに

猛暑の中、多くの来賓と市民の皆様に来場いただき、成功裏に大会を終えることができました。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



大会旗引継ぎ



## 消防団120年特別企画 「大日本消防」表紙絵

(財)日本消防協会



発行：昭和4年1月  
第3巻第1號

題名：「海老」

筆者：川端龍子

(かわばたりゆうし)

明治18年6月6日生まれ

昭和34年 文化勲章受章

代表作に「靈泉由来」「草炎」など



発行：昭和4年2月  
第3巻第2號

題名：「大内山の雪景」

筆者：松岡映丘

(まつおかえいきゅう)

明治14年7月9日生まれ

東京美術学校（現東京芸大）の教授

代表作に「室君」「右大臣実朝」など

# 少年消防クラブ交流会の概要について

(財)日本消防協会

将来の地域防災の担い手である、青少年達を育成する目的のもと、消防庁主催の少年消防クラブ交流会が、8月7日（水）～9日（金）徳島県で行われ、西日本の小中学生を対象に18クラブ130名（指導者含む）が参加し、クラブ員の交流を図ると共に、消防技術を取り入れた訓練に取り組みました。

(財)日本消防協会及び(一財)日本防火・防災協会も、今後の少年消防クラブ活動の一層の充実、全国の少年消防クラブの活性化につながることを期待し、全面的に協力いたしました。

## 【概要】

### 1. クラブ対抗合同訓練

徳島県消防学校で行われた合同訓練には地元徳島県の7クラブを含む、18クラブ、19チームが参加しました。この訓練では、ヨーロッパで行われている青少年消防オリンピックを参考に、日本流にアレンジした、2種類の競技（クラブ対抗リレー、クラブ対抗障害物競走）を行いました。

大会は、徳島県、徳島県消防学校、徳島県消防協会、美馬西部消防組合消防本部等のご協力により、盛大に行われました。



選手宣誓する伊島少年消防隊 川西 壘さん



整列するクラブ員

### 〔クラブ対抗リレー〕

1チーム5人で、陸上のトラックコースに設置された様々な障害（水消火器や消防ホースのボーリングなど）を突破しながら、バトンとして筒先を繋いで行き、ゴールするまでのタイムを競うリレー競技。





ホース展張要領でボーリング



障害物（ハードル）を越えて



水消火器で的を倒す



バトン（筒先）を受けてホース延長

### 〔クラブ対抗障害物競走〕

同じく1チーム5人で、全長65メートルのフィールド上にある様々な障害（ハードルや平均台など）を突破しながら、5人で協力しホースを延長して、結索を行い、全員がゴールするまでのタイムを競う障害物競争。



全員でスタート



障害物（ハードル）を越えて



障害物（平均台）を越えて



協力して結索を行う



第1位 半田中学校少年少女消防クラブ



第2位 土成中学校少年少女消防隊



第3位 府中町少年少女消防クラブ



第4位 うずしお少年少女消防クラブ



第5位 厚南地区少年消防クラブ



軽可搬ポンプ操法展示  
(半田中学校少年少女消防クラブ)

## 2. 防災学習

クラブ員は地元の消防団員から過去の災害における被害状況や活動内容について説明を聴き、防災センターでの地震や煙体験などを通じて、防災について学びました。



地元消防団による災害活動報告



防災センターで地震体験

### 3. 人形浄瑠璃を鑑賞

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷において徳島県の伝統芸能である人形浄瑠璃を鑑賞しました。鑑賞後には、人形を実際に動かすなど伝統芸能に触れました。



阿波人形浄瑠璃を鑑賞



人形の操作に挑戦するクラブ員

### 4. 阿波踊り体験

クラブ員は地元の方から阿波踊りをご指導いただき、鳴り物と呼ばれる笛や太鼓の演奏に合わせて、本場の阿波踊りを体験しました。



地元のグループによる阿波踊り披露



阿波踊りを体験するクラブ員

#### 【終りに】

少年消防クラブ交流会は、徳島県、徳島県消防学校、徳島県消防協会、美馬西部消防組合消防本部、徳島県防災センター、娯茶平連（阿波踊り）等、皆様方のご協力により、盛大に開催することが出来ました。大変ありがとうございました。

# 消防団120年・自治体消防65周年記念 オリジナルグッズ

## 日消/120th記念エアテックIIシャツ

エアテックIIシャツ  
ハニカムメッシュ構造  
快適な吸汗速乾素材



商品番号

|          |          |
|----------|----------|
| ■ ネイビー   | □ ホワイト   |
| S 46783  | S 46788  |
| M 46784  | M 46789  |
| L 46785  | L 46790  |
| LL 46786 | LL 46791 |
| 3L 46787 | 3L 46792 |

[素材] ポリエステル100%

1,500円

| ウェアサイズ | cm   | S    | M    | L    | LL   | 3L |
|--------|------|------|------|------|------|----|
| 身幅     | 47.0 | 50.0 | 53.0 | 56.0 | 59.0 |    |
| 身丈     | 67.0 | 69.0 | 72.0 | 75.0 | 78.0 |    |

## 日消/VF120エアテックIIシャツ

エアテックIIシャツ  
ハニカムメッシュ構造  
快適な吸汗速乾素材



商品番号

|          |          |
|----------|----------|
| ■ ネイビー   | □ ホワイト   |
| S 46793  | S 46798  |
| M 46794  | M 46799  |
| L 46795  | L 46800  |
| LL 46796 | LL 46801 |
| 3L 46797 | 3L 46802 |

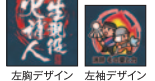
[素材] ポリエステル100%

1,500円

| ウェアサイズ | cm   | S    | M    | L    | LL   | 3L |
|--------|------|------|------|------|------|----|
| 身幅     | 47.0 | 50.0 | 53.0 | 56.0 | 59.0 |    |
| 身丈     | 67.0 | 69.0 | 72.0 | 75.0 | 78.0 |    |

## 日消/一生現役火消人エアテックIIシャツ

エアテックIIシャツ  
ハニカムメッシュ構造  
快適な吸汗速乾素材



商品番号

|          |          |
|----------|----------|
| ■ ネイビー   | □ ホワイト   |
| S 46803  | S 46808  |
| M 46804  | M 46809  |
| L 46805  | L 46810  |
| LL 46806 | LL 46811 |
| 3L 46807 | 3L 46812 |

[素材] ポリエステル100%

1,500円

| ウェアサイズ | cm   | S    | M    | L    | LL   | 3L |
|--------|------|------|------|------|------|----|
| 身幅     | 47.0 | 50.0 | 53.0 | 56.0 | 59.0 |    |
| 身丈     | 67.0 | 69.0 | 72.0 | 75.0 | 78.0 |    |

## 日消/FIRE FIGHTER 120 ウインドブレーカー



商品番号

|         |          |
|---------|----------|
| L 46818 | LL 46819 |
| M 46817 |          |

[カラー] ネイビー  
[素材] 表地:ヘビーテイル(ナイロン100%)  
裏地:メッシュ(ポリエステル100%)

6,000円

| ウェアサイズ | cm   | M    | L    | LL |
|--------|------|------|------|----|
| 身幅     | 62.0 | 64.0 | 65.0 |    |
| 身丈     | 72.0 | 75.0 | 78.0 |    |
| 袖丈     | 87.5 | 90.0 | 92.5 |    |

### 日消/120-65ドット・イーボールペン

●ロング芯でインクが長持ち **芯色 黒**



**商品番号** 37554 **200円**  
 [サイズ] 直径1.2cm×長さ14.8cm  
 [材質] 再生PC、再生POM

### 日消/120-65ネクタイピン

●プラスチックケース入り

**商品番号** 46002

[サイズ] 5cm×2cm  
 [材質] 真鍮ニッケルメッキ(プレス加工) **1,000円**



### 日消/120-653Dラバーキーチェーン

**商品番号** 60517

[サイズ] 4cm×4.1cm×厚さ0.8cm  
 [材質] PVCラバー、鉄 **400円**



### 日消/120-65リフレクターキーホルダー

●高輝度反射素材を使用

**商品番号** 44005

[サイズ] 直径6cm  
 [材質] ATBC-PVC(非塩ビ)、鉄 **500円**



### 日消/120-65ソーラーLEDキーホルダー

**商品番号** 60407

[サイズ] 5.7cm×3.5cm×1.1cm [材質] ABS、鉄

**500円**



### 日消/120-65ラバーコインケース

ギュッと握ると開きます。

**商品番号** 07919

[サイズ] 7.8cm×5.1cm  
 [材質] PVCラバー、鉄

**500円**



### 日消/120-65スポーツタオル

**商品番号** 12896

[サイズ] 110cm×40cm

[素材] 綿100% **1,200円**

### 日消/120-65ミニタオル

**商品番号** 12897

[サイズ] 20cm×20cm

[素材] 綿100% **500円**

### 日消/120-65ポリカジュアルバッグ

水濡れに強い!!



**46829**

ブラウン

**46823**

ネイビー

**商品番号**

■ **ネイビー** 46823

■ **ブラウン** 46829 **1,000円**

[サイズ] 幅30cm×高さ36cm×マチ14cm  
 [素材] 表地:ポリエステル100% (600デニール)、裏地:PVC加工

### 日消/VF120スクワッドⅢジャケット

防寒用ジャケット



背中



右袖デザイン

フロント

**商品番号**

**M** 46813 **L** 46815

**L** 46814 **3L** 46816

[カラー] ネイビー

[素材] 表地:ヘビーツイル(ナイロン100%)

中綿:サーモライト\*マイクロ(ポリエステル100%)

裏地:ナイロン100%

**9,700円**

| ウェアサイズ (cm) | M    | L    | LL   | 3L   |
|-------------|------|------|------|------|
| 身幅          | 63.0 | 65.0 | 67.0 | 69.0 |
| 肩丈          | 66.0 | 68.0 | 72.0 | 75.0 |
| 袖丈          | 90.0 | 92.5 | 95.0 | 97.5 |



左胸デザイン

お問い合わせご注文は TEL.0120-607-444 (9:30~17:30 土日祝日を除く) / FAX.0120-238-119 ※写真の商品3印刷のため、実際の商品と色見が異なる場合がございます。予めご了承下さい。

株式会社 シグナルOS



## 頑張れ! 少年消防 クラブ

No.65 足利市立愛宕台中学校少年消防クラブ（栃木県）

### 「減災」を学ぶ防災教育

当クラブが活動している足利市は、人口約152,000人で栃木県の南西部に位置しており、山に囲まれた自然豊かで歴史のある市です。

足利市立愛宕台中学校少年消防クラブは、昭和39年6月1日に発足し、現在16名の生徒が所属しています。当初は「子供の頃から正しい火災予防の知識を覚え、火災を起こさないようにする」ことを目的として活動していましたが、近年は多発している自然災害による被害状況などを鑑みて、身近な生活の中で火災や災害を予防することをテーマに、様々な活動を行っております。

校内での活動としては、消防用設備等の安全点検や、消防訓練の補助活動、春・秋季火災予防運動中の校内防火広報と防火点検を実施しています。また、一昨年から授業の中で「防災教育」を実施しており、昨年度は、防災教育の講師を招き「減災」について学びました。「災害を防ぐ」ではなく、「起きてしまう

大災害」に対して、最悪の被害を出さないためにはどうしたらよいかを考え、その授業をもとに、東京臨海広域防災公園にて、災害後72時間生き残ることができるかという体験学習も行いました。

地域活動では、市内の各中学の少年消防クラブと合同で、毎年1月に実施される消防出初式防火パレードに参加し、青少年による防火思想の向上をPRしたり、企業等における防火防災体制の視察見学や、「安全・安心のまちづくり」のための各クラブで掲げた研究テーマを発表し合う研究発表会などの活動を通して、防火防災に関する見識を高めています。

このような防災教育や体験の中で、子供たちの防災意識を向上させ、「起きてしまう大災害」に対し、家族、友達などと自宅での備えや、避難場所について話し合う機会も作る事ができました。今後も一層、子供たちが興味を引くような取り組みを行い、「自ら学ぶ防災教育」を目指していききたいと思います。



うちの

# 名物団員



大分県



由布市消防団 団長

吉良 利武

オシャレな縁メガネがよく似合う吉良団長は大工の棟梁をしており、仕事においても、消防団活動においても常に最前線で指揮をとっています。

そんな吉良団長の趣味は山芋掘り。新聞にも載るほど地元では「山芋掘り名人」としてとても有名です。長いもので2m以上の山芋をきれいに掘り出すとのこと。どんなに難しい場所でも吉良団長の手にかかれば掘れない芋はありません。なかなか吉良団長の右に出る人はいませんよ。

保土ヶ谷消防団 第1分団 5班 副班長

知久 純代



横浜市の保土ヶ谷消防団、入団13年目の知久副班長を紹介します。ベテランの主婦で、家事と趣味、そして消防団活動をうまく両立されています。マジックのサークルに所属し、普段はデイサービスなどで披露している知久副班長ですが、そこで培われた話術は、地域の防災指導など大切な事を伝える場合にとっても役立っていると思います。

また、応急手当指導員として、同じ団員や地域住民の方々に行う救命講習でも一役かっています。趣味から始めたマジックだそうです、現在その腕前はプロ並みで、そのうち写真のトランプカードがAEDに替わるのではないかと、非常に楽しみにしています。

(寄稿文：保土ヶ谷消防団 第3分団 3班 副班長 堀 香乃子)

保土ヶ谷消防団 第3分団 3班 副班長

堀 香乃子



横浜市保土ヶ谷消防団の女性団員で、看護歴25年の現役看護師で救急救命士の資格を持つ堀副班長を紹介します。堀副班長は、アマチュア無線に大型自動二輪に牽引免許までも取得するスーパー看護師さんなんです。

応急手当指導員のトップとして、私たち女性消防団員へのきめ細かな指導は、他の男性団員からも信頼を得る素晴らしい方です。

そんな堀副班長の趣味（ミニカー）をご紹介します。

赤や白の消防車と救急車に囲まれた堀副班長は幸せそうですね。

『本物は、一台何千万円かしら？ 消防車と救急車、いかがですか!!』

(寄稿文：保土ヶ谷消防団 第3分団 分団本部 部長 平野 清美)

神奈川県





石巻市消防団 団員

遠藤 由子

彼女は、ホテルの専属司会者という異色の経歴を持った名物女性消防団員です。出初め式や操法大会をはじめとした市消防団行事から県消防協会主催の行事に至るまで司会を担当し、その美声と機転でそつなくこなす才女です。これからも同じく団員である夫と共に益々精励してほしいと願います。



仙台市青葉消防団 中央分団 部長 団員

鈴木 寿幸 鈴木 絢子

うちの親子団員を紹介します。父親の寿幸さんは、林業関係の仕事をしており、チェーンソーを使った彫刻教室なども行っています。その技術を見込まれ、林野火災防衛訓練では、チェーンソーの講師役を担っています。娘の絢子さんは、東日本大震災時の父親の活躍を見て入団しました。おしとやかに見えますが、負けず嫌いで、ロープ結索訓練やポンプ操法にも積極的に参加し、仲間の団員にも一目置かれる存在です。



福知山市消防団 河東分団第2部 団員

竹田 季代

地元の高校を卒業後、地元を離れ（北海道）大学に進学、就職して約10年ぶりに故郷へ帰り消防団員として活動する先輩と出会い、地域の消防団活動の話聞く中で入団を決定されました。  
入団当時は、女性だけで構成する組織も設置されていましたが、そこではなく、男性団員と共に地域の分団員として活動する、福知山市消防団として初めてのケースとなりました。  
体力的な部分は配慮しつつ、分団訓練に積極的に参加していただいています。

「女性として、男性同様の活動はできないが、普段からの活動が大切であり、防災の仕組み、地域の仕組み等が分かっていないといざという時に役に立たない」と訴えるなど、頼もしい女性団員であります。



吉賀町消防団 本部分団 団員

永安 真澄

来る10月17日に横浜市で開催される第21回全国女性消防操法大会で指揮者を任されたのが永安真澄さんです。真面目な人柄に加え持ち前の明るさと負けん気の強さで団員を引っ張るリーダーです。にんにくの産地として有名な青森県出身の永安さんは、ご主人が育てた六片にんにくを使った料理！今年の暑い夏の訓練も永安さんのスタミナ料理で操法要員も夏バテ知らずです！

竹田市消防団  
団長

都築 員守



竹田市は、昭和57年から起算したこの30年間で5回も複数の犠牲者を伴う大災害に見舞われ、それら以外に危うく人命を損なうところであった災害も少なくないという状況で、文字通り“災害常襲地域”の汚名をぬぐい去るべくありません。

そんな中906名の団員は「経済政策3本の矢」ならぬ『消防活動3本の矢』を心の拠り所として、市民の安全・安心の確保に日夜活動しています。

- ①迅速且つ的確な行動
  - ②強い使命感と太い絆
  - ③様々な職種と技能に裏付けられた自信
- これらは全国の消防団にも当てはまる事柄



7.12 豪雨災害状況（山手地区）

ですが…。

さて2名の方が亡くなられた昨年7月12日の「北部九州豪雨・豊肥大水害」において、自らが被災しながらも消防活動に専念した数多くの団員の存在は、我が団の誇りです。また災害復旧において、他市の消防団からの応援出動を賜り改めて“絆”の強さを実感した次第です。

ところで私が『4本目の矢』として大いに期待しているのが『女性団員の採用』であります。常に災害と隣り合わせの竹田市だからこそ“命に身近な”女性の力を存分に発揮してもらい、助かる命を救い、防火・防災の輪を更に大きく広げていけると私は確信しており、次年度実現に向け努力してまいります。

最後に昨年の水害に際し全国の皆様から戴いた激励・ご支援に深く感謝申し上げます。



大分川・大野川水防演習

平成25年度 全国統一防火標語

## 「消すまでは 心の警報 ONのまま」

### 10月の日本消防協会関係行事

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| 10月16日（水） | 第21回全国女性消防操法大会第2回審査員研修会   |
| 10月17日（木） | 第21回全国女性消防操法大会（横浜市）       |
| 10月30日（水） | 第19回全国女性消防団員活性化大会（岐阜県高山市） |

### 編集後記

気象庁は平成25年8月30日から「特別警報」の運用を開始しました。

これまでは、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。これに加え、今後は、この警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大級のキケンが迫っている事を知らせます。もしこの警報が発令されたならば「ただちに命を守る行動をとってください。」と呼びかけています。

さて、9月に入ってからも気象に関する災害発生が続いています。台風15号の影響で大雨が降り、また、埼玉県、千葉県、栃木県では竜巻が発生し被害が出てしまいました。さらに、台風18号の接近に伴い、運用開始後初めてとなる「特別警報」が京都、滋賀、福井の3府県に発令されました。そしてこの3府県は甚大な被害をこうむり、その他の地域でも大雨による洪水や土砂崩れ等の被害が出た一方で、宮城、栃木、群馬、埼玉、三重、和歌山の6県では突風による被害があり、このうち、宮城と和歌山を除く4県は竜巻だったと結論付けたことを気象庁が発表しました。

このように、大雨、竜巻、突風、は気象条件さえ揃えば、全国のどこでも発生する可能性があります。これからは、自分が住む地域の特有な災害にだけ目を向けるだけではなく、様々な災害発生に備えて「命を守る行動」を身につける必要があるのではないのでしょうか？  
(M・K)

### 購読募集

購読を希望される方は、(財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,388円

(問合せ先) 総務部企画担当 03-3503-1481

### 寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受付しています。

soumu@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第六十六巻第九号  
平成二十五年九月五日印刷  
平成二十五年九月十日発行

編集人 生嶋 文昭  
発行所 財団法人日本消防協会

印刷所 東京都港区虎ノ門二丁目九十六番地  
電話 〇三(3503)一四八一(代)

印刷所 東京都文京区湯島三丁目二十一番地  
日本印刷株式会社  
電話(3833)六九七一(代)

生活協同組合 全日本消防人共済会

# 「火災共済金は1500倍補償」

## B型火災共済

加入口数5口500円から25口2,500円まで  
掛金25口2,500円で最高375万円の共済金

## C型火災共済

加入口数最高200口20,000円まで  
最高限度額掛金200口20,000円で最高3,000万の共済金  
※共済への加入にあたり、組合員となっていただくための出資金が別途必要となります。



### 共済金のお支払い対象 B型・C型共通

火災共済金：火災、落雷、爆破・破裂

風水雪害等共済金：風災、水災、雪災、車両飛び込み、航空機墜落

所在地 東京都港区虎ノ門2-9-16

日本消防会館6階

連絡先 TEL 03-3503-1439

FAX 03-3503-1480

E-Mail: kyousaikai@nissho.or.jp

URL: <http://www.nissho.or.jp>

## 消防個人年金

消防個人年金は、将来の自分の為の積立年金制度で、(財)日本消防協会が第一生命保険株式会社と締結している拠出型企業年金です。

### 消防個人年金を紹介します

- 1 予定利率は**1.25%**です。
- 2 **月払、半年払、月払と半年払の併用**から払い込み方法をご選択頂き、**掛金1万円**(ゆうちょ銀行は5千円)からご加入頂けます。また、まとまった資金を**一時払**することもできます。
- 3 年金は、**年4回**で受給して頂けます。
- 4 **退団・退職後も継続**できます。



そのほか詳しくは、ホームページをご覧ください。